

## 気象大学校が人事院総裁賞を受賞

～100年にわたり気象業務を支える人材を育成～

気象大学校（千葉県柏市旭町）が、第36回人事院総裁賞（職域部門）を受賞しました。

### 1. 人事院総裁賞の趣旨

人事院総裁賞は、長年にわたる地道な活動や高いモチベーションの下での勇気ある行動などを通じ、行政サービスや国民生活の向上に顕著な功績を挙げ、国民の期待に応えた国家公務員（個人又は職域）を毎年表彰するもので、昭和63年の創設以来、今回で36回目となります。

### 2. 受賞理由

気象大学校では、100年以上の長きにわたり気象庁職員に対して専門的な知識・技術に係る教育・研修を実施しています。職員の技術力・能力向上を通して、指導的な役割を果たす職員を育成し、気象業務の基盤を支えるとともに、国民の安全・安心の確保や公務の信頼の向上にも大きく貢献しました。

気象大学校の概要については、別紙をご覧ください。

### 3. 授与式

本日、明治記念館（東京都港区元赤坂）にて授与式が行われました。

### 4. 参考

別途、人事院において報道発表されました。

問合せ先：（受賞理由に関すること）気象大学校総務課 担当 助川・横溝  
電話 04-7144-7185（内線 202・203）  
（その他に関すること）気象庁総務部人事課 担当 指田・川畑  
電話 03-6758-3900（内線 2302・2303）